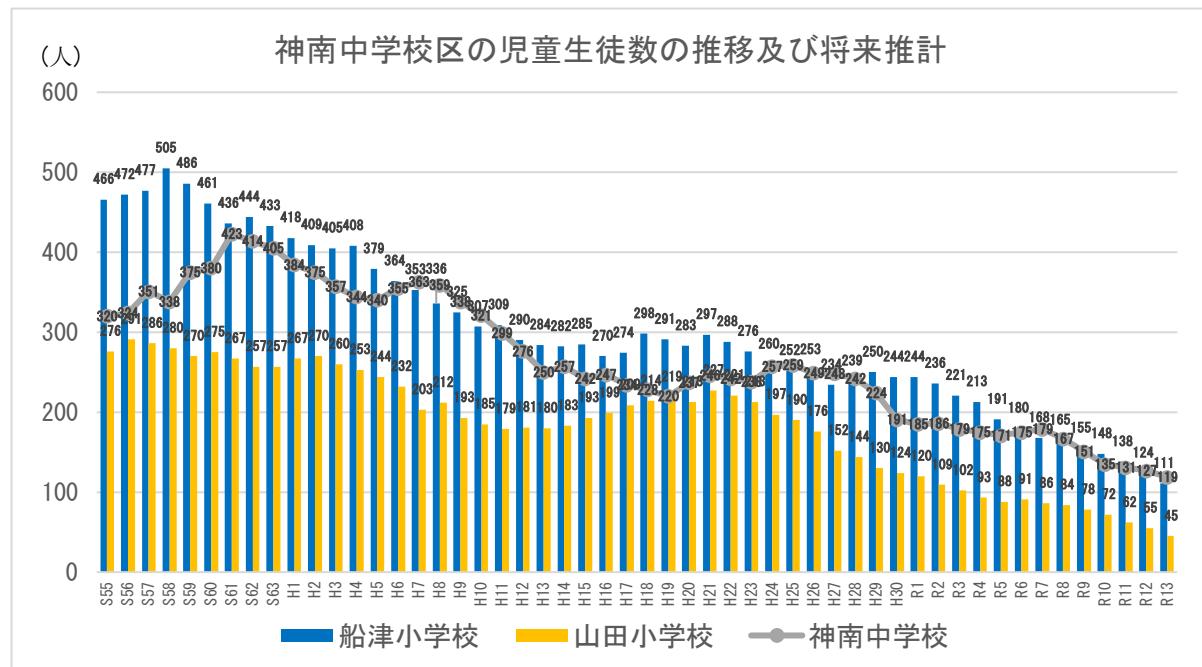


神南中学校区における児童生徒数の減少に対する取組方策について

1 神南中学校区の児童生徒数の推移



※各年5月1日現在。R8年以降は住民基本台帳登載人口に基づく推計。

2 学校地域協議会

近年の少子化に伴い、市全体で児童生徒数が減少する中、令和2年2月に策定した「姫路市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」に基づき、緊急性が高いと考えられる神南中学校区において、児童生徒にとってより良い教育環境にしていくための取組方策について協議するため、学校地域協議会（以下、「協議会」という。）を設置した。

神南中学校区においては、令和5年6月に協議会を設置し、全15回の協議会の開催に加え、地域住民への説明会や全世帯を対象としたアンケート調査、保護者のみを対象としたアンケート調査を実施しながら協議を進めてきた。その結果を踏まえ、協議会で取組方策について検討した結果、船津小学校、山田小学校及び神南中学校を統合して義務教育学校を設置することを希望する協議結果報告書が令和7年5月に提出された。

3 取組方策

中学校を隣接校区の中学校と統合することから検討を始めたが、通学に関する生徒や保護者の負担を懸念する意見の一方で、9年間の学校生活による縦のつながりや活気を重視する意見、地域の特性を活かした神南ならではの教育の構築を期待する意見などがあり、協議会として、義務教育学校を設置することを希望する協議結果報告書が提出された。この協議結果報告を尊重し、船津小学校、山田小学校及び神南中学校を統合して、義務教育学校とする。

なお、義務教育学校を設置する校地については、面積、立地、特別教室の配置等を考慮し、神南中学校とする。

4 義務教育学校の開校時期

令和12年4月1日（予定）